



2024年6月18日

スカパー J S A T 株式会社

スカパー J S A T、WFP 国連世界食糧計画とフィリピン向け 災害用衛星インターネット回線提供について合意 ～国際的な災害対策、復興支援に協力～



スカパー J S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一、以下スカパー J S A T）は、WFP 国連世界食糧計画（以下、WFP）と、フィリピンにおける台風や地震、火山などの災害時において、スカパー J S A T の通信衛星を用いたインターネット回線を提供する契約を締結しました。このパートナーシップは、近年、気候変動などにより頻発化、甚大化傾向にある自然災害により、フィリピンで現地の地上ネットワークが利用できなくなった時に、スカパー J S A T が JCSAT-1C 衛星による通信回線を提供し、WFP の緊急食料支援や人道支援活動に貢献することを目的としています。

この取り組みは、スカパー J S A T にとって WFP との初の CSR 活動となります。また、衛星インターネット回線、可搬型超小型地球局、メンテナンス、サポートなどを含む包括的な衛星通信ソリューションを WFP に提供するのは、アジア地域の衛星通信事業者としてスカパー J S A T が初めてです。このパートナーシップは、WFP が主導する緊急通信クラスター（Emergency Telecommunications Cluster (ETC)*1）の緊急対応力の向上に寄与します。



スカパー J S A T の「JCSAT-1C」衛星

Credit: Boeing



フィリピンにおける WFP 活動の様子

Credit: WFP

衛星通信は、地震や台風などの災害発生時に影響を受けにくい通信手段として、特に発生初期の救命活動時に広く活用されています。スカパー J S A T は、JCSAT-1C をはじめ複数の衛星を保有し、フィリピンを含むアジア諸国を広くカバーしています。これらの衛星を通じ、世界的な課題である自然災害に対するレジリエンスの強化を支援するとともに、人道支

援に貢献します。

スカパー J S A Tは、グループミッションかつサステナビリティ方針である「Space for your Smile」のもと、地域・社会の一員として、ステークホルダーとの協働により、事業を通じてより豊かな社会の実現に取り組んでいます。アジア最大級の衛星通信事業者として、国際的な人道支援活動への支援を通じ、持続可能な社会への発展に貢献するとともに、今後ともアジア地域の通信需要の増加に対応するべく、衛星通信サービスを強化・拡大してまいります。

^{*1} ETC(Emergency Telecommunications Cluster)は、人道的緊急事態において通信サービスを提供するための共同ネットワークです。国連機関や他の人道組織、非政府組織、政府、民間セクターから構成されるパートナーでネットワークを構築しており、緊急時に信頼性の高い、安全な通信アクセスを提供するという共通の目標を持っています。緊急災害対応を目的に設立した11のクラスターのうちの1つで、IASC (Inter-Agency Standing Committee) によって指定されています。ETCはWFPが主導機関を担っており、被災政府の最初の連絡窓口として調整します。



WFP 国連世界食糧計画は、世界最大の人道支援組織です。緊急時には命を救い、食料支援を通じて紛争や災害を逃れ、また気候変動の影響などによって苦境に立たされる脆弱な人々に対して、平和、安定、繁栄への道を築いています。

<https://ja.wfp.org/>